

2026年度秋学期代表を務めることとなりました、早稲田大学人間科学部の西村桃里と申します。

これまでの活動を通して、自然の中で実際に手を動かし、季節の移り変わりを感じることの楽しさを改めて実感してきました。また、稲刈りや自然薯掘りなどの作業を一緒に行う中で、自然との関わりだけでなく、参加してくださる皆さまとの交流も活動の大きな魅力だと感じています。いつも活動に参加してくださり、本当にありがとうございます。

秋学期は、稲刈りや自然薯掘り、リース作り、オオムラサキの越冬幼虫調査、鳥類観察会など、秋から冬にかけての自然を楽しめるさまざまな活動を予定しています。自然の恵みを自分たちの手で感じたり、普段は見過ごしてしまう小さな生きものに目を向けたりしながら、それぞれの活動を楽しんでいただけたら嬉しいです。

初めて参加する方にも「来てよかった」「また参加したい」と思っていただけのように、作業や学びだけでなく、自然の中で過ごす時間そのものを楽しめるような活動を目指していきます。

まだまだ至らない点もあるかと思いますが、参加してくださる皆さまと一緒に、季節を感じながら楽しく活動をつくっていただけたらと思います。秋の自然の中で、皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

